

令和6年7月1日



園長 中川 宏美

みらいだより

6月も後半になって、やっと梅雨入りしたとたん、早くも雨が続いて、なかなか外で遊べない日が多くなりました。大雨の予報を聞くたびに災害への心構えを一段と高めるようにしています。うとうしい梅雨があけたら、夏。七夕まつり、水遊び、プール、お泊り保育など、夏だからこそその行事が待っています。避けることのできない猛暑も合わせてやってきますが、ご家庭においても、夏の暑さに負けず元気にすごせるよう、水分補給や食事、睡眠に十分留意しておすごしください。

7月			
月	日	曜	行事予定
7	5	金	七夕祭り
	8	月	プール開き
	13	土	お弁当の日
	16	火	身体測定(どんぐり・ひかり)
	17	水	身体測定(たけのこ・そら)
	18	木	身体測定(りす・うさぎ)
	19~20		お泊り保育(ひかり) 三滝少年自然の家
	23	火	野出さんのワークショップ(そら・ひかり)
	27	土	お弁当の日

※変更の場合あり

(お子さまの命を守るため) 緊急対応時、いつでも園からの連絡がとれるようにしていただくとともに、気象情報に応じて登園を自粛いただく場合があります。ご理解いただきますようお願いいたします。

梅雨ならではの体験

「家ではできないからしっかりジャブジャブ遊んでおいで」と朝の園庭にできた水たまりを見たお母さんが送り出してくれます。雨上がりの水たまりに、ためらいなくジャブジャブ入っていく子、ゆっくり恐る恐る足を入れてから入る子、そばで友だちの様子を見ている子、いろいろです。入ってみると、ぴちゃぴちゃする音がおもしろくなって、だんだんダイナミックな動きに。梅雨の園庭は、子どもたちそれぞれの興味関心に応じたいろいろな楽しみ方ができる環境です。



6/8 保護者交流会(そら組) アンケートから

- 気になるものがあったら、図鑑を持ってきて慣れた手つきで調べており、その習慣と環境はいいなと思った。
- 友だちと一緒に遊ぶときも意見が分かれそうになるときも2人で考えながら取り組み、工夫していて、意見を交わすことができるようになったんだと感じた。
- ときどき家に持って帰る砂だんご。懐かしくもあり今ときこんな固い団子を作れるなんて嬉しく思っており、実際にその姿を見ることができて喜んでいたら、「さらこな」は網で砂を振るうのではなく皿に砂を入れて左右に揺らして砂金を見つける職人のように粒子を細かくしていて、そんな技があるんだ!!とびっくりした。またその技は代々子どもたち同士で見て覚えて受け継がれてると先生から教えていただき子どもたちすごいなと大笑いした。
- さら粉の作り方を聞くと、丁寧に教えてくれた。お団子を作ったあと、擦っていくとよいよと実践で見せてくれ、人に伝えるためにはどうしたら分かりやすいか考えられるようになったんだと成長を感じた。



どんぐり組(0歳児)：「ふしぎ！」

水たまりを見つけ、触ります。泥をつかみ、手に着いた泥をじっとみます。水が跳ねたりする音を聞いたり、砂がドロッと硬くなる感触を楽しむ経験を通して水や泥の素材に親しみ、性質に気づいていきます。



たけのこ組(1歳児)：「興味津々」

自分で登りやすい場所を選び、試行錯誤しながら登っています。途中で滑りますが、あきらめることなく繰り返し挑戦します。挑戦する中で達成感を感じたり、諦めない気持ちが芽生えていきます。



りす組(2歳児)：「イメージを広げて」

「あわあわ〜」「おばけだぞ〜」「アイスクリーム」「おいしそう」「あわごはんです」泡をみたくて様々なものになりきったり、見立てたりするなどイメージを膨らませて遊んでいます。友だちと言葉のやりとりを通して、イメージを共有して遊んでいます。



うさぎ組(3歳児)：「いっぱいみつけたよ」

「かなぶんみつけたよ」「つかまえられるよ」「あれ、うごかないよ」「しんでるのかな」「しんだふりしてたんじゃね」「みせてみせて」「みてみて、ヤスデいっぱいおった」「ミミズもつかまえたよ」気づいたことや考えたことを友だちと話します。生きものに親しみを持って関わるなかで、好奇心や探究心を持つようになっていきます。



そら組(4歳児)：「またあった！」

「みて〜きのこ」「カレーみたいないろ」「またあった」「あかいのもある」「いろいろある」「しろいよこれ」「これほそい」色や形、大きさの違いを比べたり、次にはどんなきのこを見つけることができるか期待しながら歩いていました。じめじめとする気温を感じながら探索して散歩を楽しんでいました。



ひかり組(5歳児)：「だんごむしの綱渡り」

「綱渡りできるんよ」と木のブロックと小枝を使ってダンゴムシの綱渡りレースを開催します。「上の方歩いた方がいいんじゃない?」「こっちの方が速いじゃん」と歩く位置を考えたり、「押しすぎたら落ちるよ」「もうゴールよ」と2匹の速さを比べます。ダンゴムシの様子を観察し、様々な気づきや発見を楽しんでいます。